



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2021.12.13

## 実りの秋「かがやき発表会」

季節は冬に移行してきていますが、学校は今まさに「実りの秋」の様相を呈しています。新型コロナウイルス感染症のため、延期されていた中学部の大洲青年交流の家体験活動や小学部の修学旅行などの行事等が11月12月に移動してきており、この秋は様々な学校行事が次々に行われています。先週だけに限っても、小学部の木工教室、体育科によるフェンシング体験、校内研究授業、松山聾学校来校及び職員研修等、多くの行事が行われました。

こうした行事の中でも「かがやき発表会」は、多くの方にご来場いただき、日頃の学習の成果の一部をご覧いただくことができ、実りの秋にふさわしい内容になったと感じています。小学部の合奏では、11月17日の市内親善音楽会で他校の先生からもお褒めの言葉を多くいただいた合奏に、さらに1・2年生も加わり、より壮大な「ジュピター」の演奏になりました。中学部の「君は君でいい」の合唱では、私自身は今回初めて知った曲でしたが、詩の世界を美しいハーモニーで中学生らしく表現していて、詩が心に自然としみ込んでくるような歌声で、感動的でした。学習発表の部では、小学生は生活科や総合的な学習の時間に現地に行ったり、それぞれが調べたりしたことを、手話の表現も取りいれながら、わかりやすく発表していました。長いセリフもはっきり大きな声で伝えられ、工夫された発表ができていたことが強く印象に残りました。また、中学部は調べることにとどまらず、それをどのように他の人に伝えていくか、つなげていくかを考えた、実践に結びつけた活動を中心とした発表でした。小中それぞれの良さが伝わる発表だったと思います。学習の成果が出ていたと思います。また、新宮ならではの「君が主役だ」のコーナーでは、楽しいものから、まさに特技といえるものまで、それぞれが自分らしく発表していました。失敗することもありましたが、なにより自分自身を「表現しきる」ことができていたことが大変素晴らしいと感じました。また、それを見る児童生徒・保護者・地域の方の温かい雰囲気、何よりも代えがたいものだと感じました。さらに、中学生の司会者が、自分を出しすぎずに発表者を主役として立てていた司会ぶりに、多くの人から高評価をいただけていました。

今回、コロナ対策で、体育館入場を家族2名までと制限したため、多目的室にモニターを設置しましたが、参観者の方から、ビデオカメラによるアップがあって見やすいことや、体育館よりも暖房がよく効くので過ごしやすかったとのご意見をいただきました。来年への参考にしたいと思います。

最後に、研修部の方のご準備による、プレゼント及び出し物について、大変お世話になりました。児童生徒は大喜びでした。

目前に迫った、学期末に向けてよい締めくくりをしていきたいと考えています。

